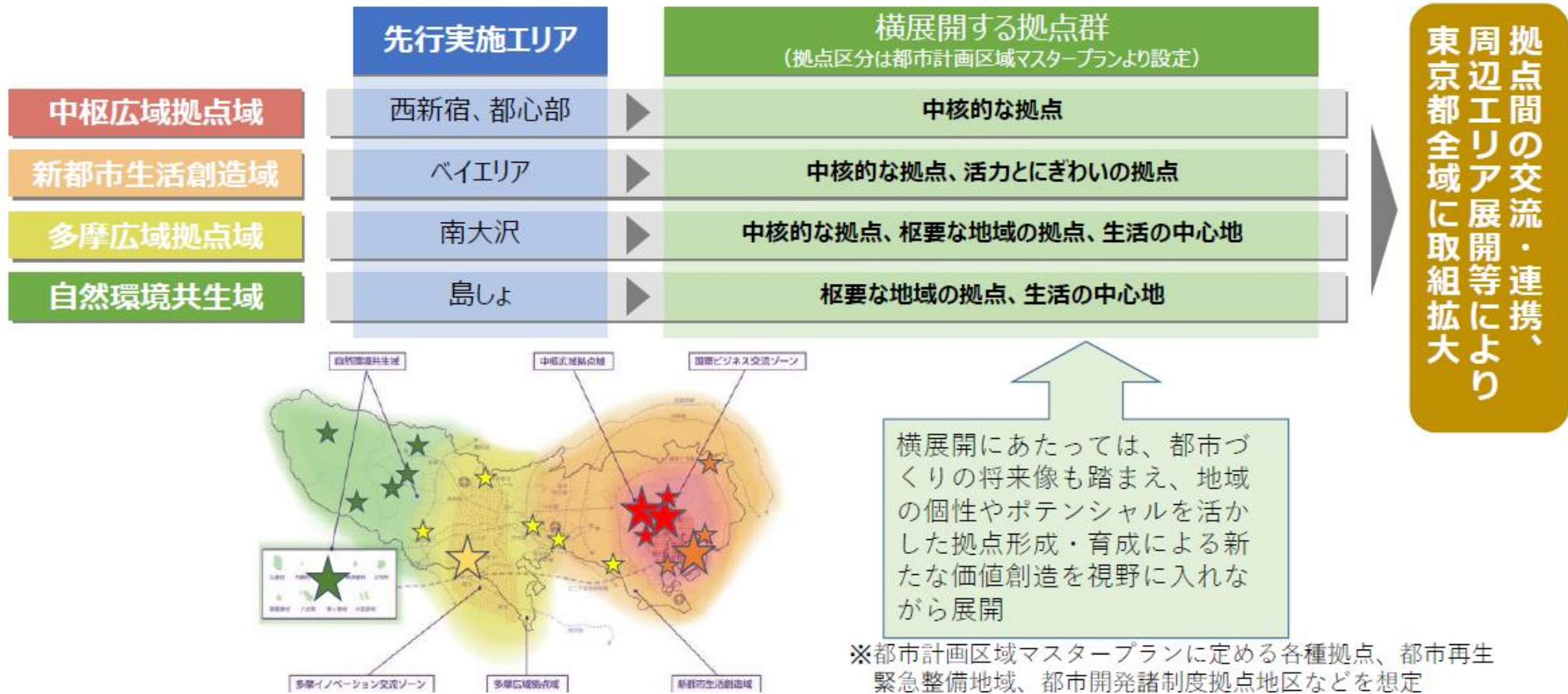


「都市づくりのグランドデザイン」の地域区分も見据え、先行実施エリアから横展開



Target areas of LOD2 or more in TOKYO ①

■ 都市再生緊急整備地域など中枢広域拠点域における特に機能集積が進むエリア

図出典：「未来の東京」戦略（令和3年3月）

池袋



- ・劇場やホール、サブカルに関する施設の集積や身近な芸術・文化活動により、世界中から人を惹きつける国際アート・カルチャー都市が形成

新宿



- ・国内外の人・モノ・情報が集まり、交わり、刺激し合い、更なる魅力や新たな価値を持続的に創出し続ける国際交流拠点が形成

渋谷

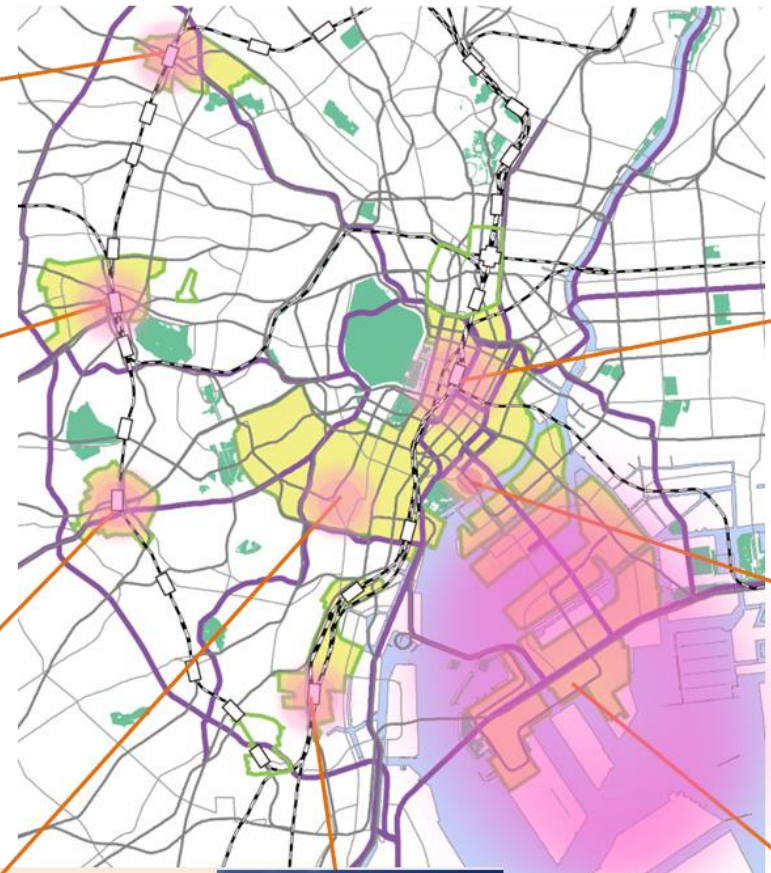


- ・クリエイティブ・コンテンツ産業等が高度に集積するとともに、ファッションやエンターテインメントなど先進的な文化発信拠点が形成

六本木・虎ノ門



- ・国際色豊かな業務、商業・エンターテインメントなどの多様な機能や外国人向け生活支援施設が充実した、国際ビジネス拠点が形成



品川



（図像提供）東日本新交通株式会社

- ・リニア、羽田など広域アクセスの利便性などを生かし、歴史や崖線の緑などを継承しつつ、最先端のビジネス環境やMICEの拠点の整備などにより、日本の成長を牽引する国際交流拠点が形成




東京



- 大手町
 - ・国際金融拠点機能や、情報通信・メディア機能の融合及び通信基盤を生かした新産業創造・国際ビジネスハブが形成
- 丸の内
 - ・歴史と風格ある街並みを有するとともに、経済中枢機能の集積や質の高い業務機能を生かしたビジネス・国際交流拠点が形成
- 有楽町
 - ・文化・芸術・交流・商業等、多くの機能の融合や、グローバルレベルでのMICE推進・強化等により国際ビジネス・都市観光拠点が形成

築地



- ・大規模集客施設や国際会議場などの機能を備え、文化や芸術、食・スポーツ・ウェルネスなどの機能が融合し、新たな東京の魅力を創造・発信する国際的な交流拠点が形成

臨海部



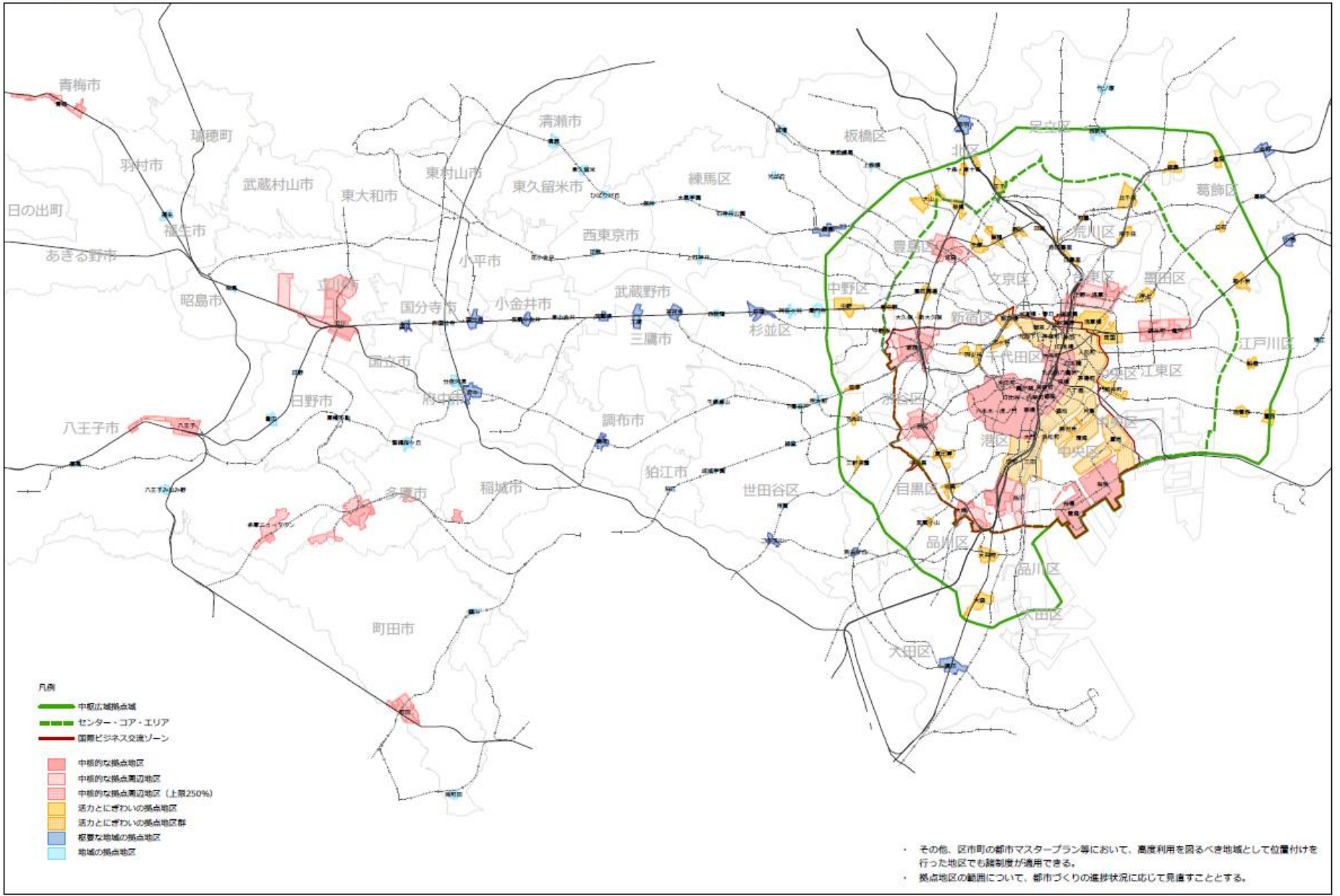
- ・区部中心部との近接性、国内外の玄関口、東京2020大会のレガシーの集積等の強みを生かし、世界から人と投資を呼び込み、東京と日本の持続的成長を牽引する未来創造域が形成

Target areas of LOD2 or more in TOKYO ②

■ 都市開発諸制度における拠点地区など都市機能集積が進むエリア

図2 拠点地区位置図

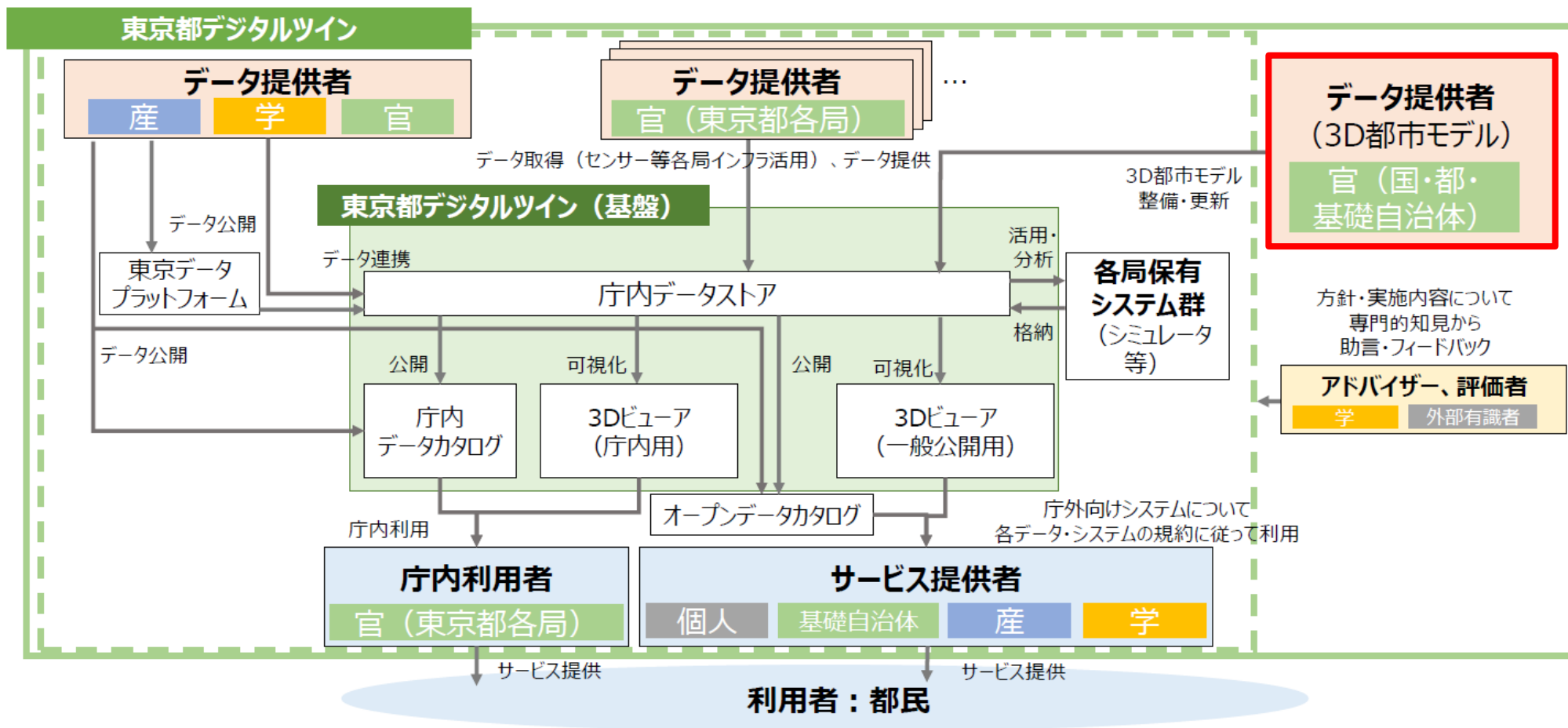
図出典：新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針（令和2年12月改定）



論点1

デジタルツインの運用モデル

東京都デジタルツインの運用におけるデータフローを検討



【都市整備局】都市の3Dデジタルマップ化の取組

令和3年度は、モデルエリア（西新宿、南大沢、大丸有、ベイエリア）の4地区で整備



デジタルツインの社会実装に向け、順次エリア拡大予定



官民が保有する最新データを活用

地上屋外空間モデルの整備



公共的な地下空間モデルの整備



PLATEAUデータも有効活用しながら、地上地下のシームレスな高精度の3Dマップを整備



PLATEAU 道路LOD1



足元(建物低層・道路部)のモデル精緻化

